

(公財) 宝塚市文化財団

第6回宝塚学検定

検定試験の結果概要

公益財団法人 宝塚市文化財団は、平成27年3月21日（土・祝）に宝塚ソリオホールにおいて、第6回宝塚学検定を実施しました。

当検定は、宝塚の自然・歴史・文化などに関する100問の設問に対し、4択方式で解答。1問1点で、初級・中級は100問中70問以上、上級は80問以上、博士は85問以上の正解を合格とします。

第6回宝塚学検定の受検申込者は235人で、検定当日の受検者は216人、参加率92%でした。受検申込者235人のうち、宝塚市在住者は153人で全体の65%でした。近隣では西宮市、三田市、川西市、伊丹市、尼崎市など、県外では大阪府、神奈川県、三重県、茨城県、奈良県、石川県、愛知県からも参加がありました。最高齢受検申込者は88歳、最年少受検申込者は8歳でした。

採点の結果、初級受検者113人のうち、56人が合格（合格率50%）。中級受検者46人のうち、44人が合格（合格率96%）。上級受検者26人のうち、25人が合格（合格率96%）。博士受検者31人は全員が合格（合格率100%）しました。第6回検定ではセミナー参加者への加点制度を採用しており、初級3人、中級0人、上級1人、博士2人が、加点により合格認定されました。初級・中級・上級・博士合わせて、第6回検定の平均合格率は86%でした。なお、惜しくも合格点に届かなかった上級受検者1人は、70点以上を取得していることから中級合格の認定をします。

最高得点は初級合格者が98点、中級合格者が100点、上級合格者が99点、博士合格者が100点でした。

第6回検定で初級合格者56人は中級に、中級合格者44人は上級に、上級合格者25人は博士にチャレンジすることができます。また、博士合格者31人も、今後継続して検定を受検いただくことができます。

第6回検定では、新たな企画として「親子受検」と「高校生チーム対抗戦」を実施しました。

「親子受検」では、8歳から14歳の子どもと保護者4組が検定にチャレンジし、合格ラインを超えた親子3組に賞品が贈られました。なお、第6回検定からは50点以上を取得した小学生の受検者に「こども奨励賞」を設けており、「親子受検」では2人の小学生に「こども奨励賞」が贈られました。また、第6回検定で初めて小学生の初級合格者1人が誕生しました。

「高校生チーム対抗戦」については、残念ながら参加がなく不成立となりました。

試験結果については、受検申込者全員に検定結果通知を発送するとともに、合格者に「認定証」「ピンバッジ」「合格者特典のご案内」を送付します。

■試験結果の概要

一般受検者		申込数	受検者数	合格者数	合格率	平均点	最高得点
第1回		190 人	179 人	172 人	96%	88 点	100 点
第2回	総数	170 人	163 人	140 人	86%	83 点	100 点
	内訳	中級 86 人	81 人	78 人	96%	87 点	100 点
第3回	内訳	初級 84 人	82 人	62 人	76%	80 点	97 点
	総数	169 人	164 人	142 人	87%	81 点	99 点
第4回	内訳	上級 66 人	65 人	58 人	89%	86 点	99 点
	内訳	中級 42 人	39 人	37 人	95%	84 点	96 点
	内訳	初級 61 人	60 人	42 人	70%	74 点	97 点
第5回	内訳	総数 190 人	183 人	142 人	78%	79 点	98 点
	内訳	博士 55 人	54 人	48 人	89%	87 点	98 点
	内訳	上級 39 人	38 人	31 人	82%	84 点	95 点
	内訳	中級 27 人	25 人	20 人	80%	76 点	98 点
第6回	内訳	初級 69 人	66 人	43 人	65%	72 点	93 点
	内訳	総数 272 人	263 人	173 人	77%	74 点	99 点
	内訳	博士 43 人	42 人	38 人	90%	89 点	99 点
	内訳	上級 21 人	21 人	15 人	71%	83 点	99 点
第6回	内訳	中級 31 人	28 人	26 人	93%	81 点	93 点
	内訳	初級 176 人	172 人	94 人	55%	68 点	99 点
	内訳	総数 235 人	216 人	156 人	86%	78 点	100 点
	内訳	博士 32 人	31 人	31 人	100%	94 点	100 点
第6回	内訳	上級 27 人	26 人	25 人	96%	89 点	99 点
	内訳	中級 51 人	46 人	44 人	96%	86 点	100 点
	内訳	初級 125 人	113 人	56 人	50%	67 点	98 点

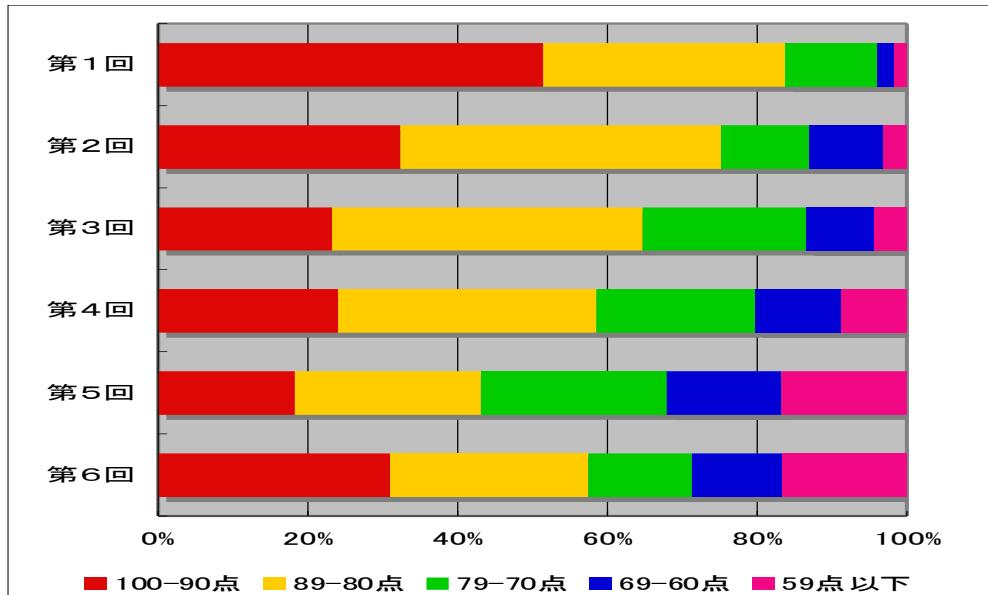
※平均点と最高得点には、加点分は含まれておりません。

■得点分布

第6回宝塚学検定の平均点は 78 点でした。得点分布は以下の表の通りです。得点最多層は 100-90 点で 67 人。80 点以上の得点者は合計 124 人で、全体の 57% を占めました。

	100-90 点	89-80 点	79-70 点	69-60 点	59 点以下
第6回	67	57	30	26	36
第5回	48	65	65	40	44
第4回	44	63	39	21	16
第3回	38	68	36	15	7
第2回	52	69	19	16	5
第1回	92	58	22	4	3

得点分布グラフ



■試験問題の概要

試験問題は、「自然」「歴史」「まち」「文化」「市」の5分野について、下表の通り出題しました。

問題の80問が公式テキストからの出題で、残り20問はテキスト外からの出題でした。テキスト外からの問題20問のうち、5問が写真および図を見て答える設問でした。

分 野	事 柄	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
自然	山、川、動植物など	15問	12問	16問	13問	15問	16問
歴史	歴史的な出来事、由来など	17問	18問	21問	23問	24問	21問
まち	産業、交通、イベント、行事など	29問	31問	25問	22問	25問	22問
文化	音楽、映画、歌劇、文学など	31問	29問	31問	30問	31問	30問
市	宝塚市の規模、姉妹都市など	8問	10問	7問	12問	5問	11問

■試験問題の難易度

解答の正答率からみると、設問の約7割が正答率75%以上（やさしかった問題）で、正答率59%以下（難しかった問題）は、11問でした。

正答率	90%以上	89-80%	79-70%	69-60%	59-50%	49%以下
設問数	18問	39問	17問	15問	6問	5問

■高正答率問題と低正答率問題

	問 題	正答率
や さ し か つ た 問 題	[5] 宝塚市在住の小説家・有川浩の作品『阪急電車』が映画化された際のタイトルは『阪急電車□の奇跡』であった。 Ⓐ宝塚線 Ⓑたった7駅 Ⓒ片道15分 Ⓓマルーン	99%
	[15] 「植木のまち宝塚」にふさわしく英国風庭園や芝生広場、温室などのある園芸振興センター□は、花と緑の交流拠点となっている。 Ⓐあいあい緑地 Ⓑあいあい公園 Ⓒあいあい広場 Ⓓあいあいパーク	98%
	[91] 阪急電鉄の雲雀丘花屋敷駅は市境上にある。宝塚市とどこの市か。 Ⓐ池田市 Ⓑ川西市 Ⓒ伊丹市 Ⓓ豊中市	98%
難 し か つ た 問 題	[10] 1950（昭和25）年、上方落語の衰退を惜しんだ阪急グループの小林一三が、宝塚第二劇場で始めた落語会はどれか。 Ⓐ宝塚上方落語会 Ⓑたから寄席 Ⓒ宝塚若手落語会 Ⓓ宝塚名人寄席 * 解答【Ⓐ宝塚上方落語会】が全体の約39%を占め、正解の【Ⓒ宝塚若手落語会】とほぼ同数となりました。	40%
	[59] 1914（大正3）年、□の余興として宝塚少女歌劇団がデビューした。 Ⓐこども博覧会 Ⓑ科学博覧会 Ⓒ婚礼博覧会 Ⓓ園芸博覧会 * 解答は【Ⓐこども博覧会】が全体の約25%、【Ⓓ園芸博覧会】が全体の約31%と3つの選択肢が分散する結果となりました。	34%
	[81] 1603（慶長8）年に豊臣秀頼（ひでより）が再興したと記す棟札（むなふだ）が、本堂と護摩堂（ごまどう）から見つかった仏教寺院は次のどこか。 Ⓐ満願（まんがん）寺 Ⓑ中山寺 Ⓒ平林（へいりん）寺 Ⓓ毫摶（ごうしょう）寺 * 最も多かった解答は【Ⓓ毫摶寺】で、全体の約32%を占めました。	30%